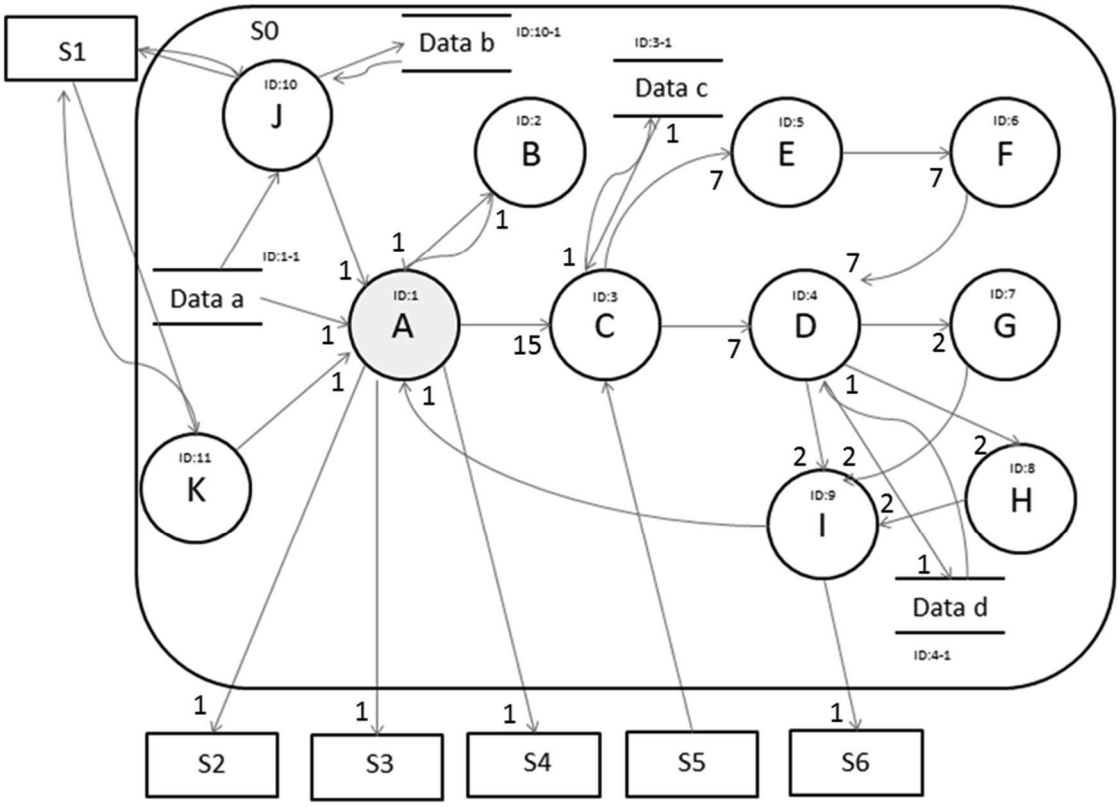
付録 1. 本論文 4 章で実施した SFD によるスコア付け詳細



変更機能 A の影響を受けるパスの導出結果

・A→B→A
・A→C→E→F→D→G→I→A
・A→C→E→F→D→H→I→A
・A→C→D→I→A
・A→C→E→F→D→G→I→S6
・A→C→E→F→D→H→I→S6
・A→C→D→I→S6
・A→C→D→Data d→D
・A→S2
・A→S4
・A→C→Data c→C
・A→C→E→F→D→I→A
・A→C→D→G→I→A
・A→C→D→H→I→A
・A→C→E→F→D→I→S6
・A→C→D→G→I→S6
・A→C→D→H→I→S6
・A→C→E→F→D→Data d→D
・A→S3

変更機能 A の影響を受けないが，変更機能 A にデータを Input する経路の導出結果

・J→A
・Data a→A
・K→A

上記の機能間データ経路の数をスコアとした値が，図中の数字となる.

付録 2．本論文 4 章のスコア付けに対応したテストケース数の詳細

機能	A 変更に対する各機能のスコア	テストケース数	スコア値に対するテストケース数の変遷						
			0	1	2	6	7	15	19
−	0	8	8	0	0	0	0	0	0
A	19	143	143	143	143	143	143	143	143
B	1	12	12	12	0	0	0	0	0
C	15	15	15	15	15	15	15	15	0
D	7	3	3	3	3	3	3	0	0
F	7	6	6	6	6	6	6	0	0
H	2	5	5	5	5	0	0	0	0
I	6	19	19	19	19	19	0	0	0
J	0	2	2	2	0	0	0	0	0
S2	1	21	21	21	0	0	0	0	0
S3	1	11	11	11	0	0	0	0	0
合計	−	245	245	237	191	186	167	158	143

※今回評価に使用したテストスクリプトの中に出現しない機能に関しては，記載していません．